

昭和医科大学
SHOWA Medical University

一昭和医科大学歯科病院の理念一

患者本位の医療
先進的医療の推進
医療人の育成発行責任者 病院長 榎 宏太郎
編集責任者 広報委員長 松田 幸子
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
TEL 03-3787-1151(代表)
いちいちごいちホームページ: <https://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

歯を長く使うために

歯内治療科 診療科長・教授 鈴木 規元

ゴールデンウィークが明け、新年度からの慌たしさも少し落ち着いてきた頃ではないでしょうか。桜の時期もいいですが、目の覚めるような新緑は、これから始まる夏に向けて、何かわくわくするような気分させられます。連休中は生活リズムや食生活が変化しやすく、知らず知らずのうちにお口の健康にも影響が及ぶことがあります。改めてご自身の歯や口腔の健康について目を向けていただければと思います。

歯を失う二大原因は、むし歯と歯周病であり、2018年に8020推進財団が全国の歯科医院で行った抜歯原因調査によると、永久歯の抜歯原因の第一位は歯周病(37%)、第二位はむし歯(29%)、第三位は破折(18%)でした。私たちは根管治療(歯の根の治療)を専門としていますが、むし歯が進行した歯に対して、根管治療が適切に行われなければ、歯を保存することが難しくなり、抜歯に至ってしまいます。

また、抜歯原因の第三位である「破折」は、歯や歯の根にひびが入ったり割れたり

する状態を指します。破折は噛む力によって起こることが多いため、歯ぎしりや食いしばりなどがあると起こりやすくなりますが、特に根管治療後の歯ではそのリスクが高くなります。

根管治療が必要になる歯は、もともとむし歯によって歯質が失われているうえ、治療のためにさらに歯を削る必要があるため、どうしても歯が弱くなります。そのため、私たちは「感染源を確実に除去するために必要な処置」と「歯をできるだけ削らず残すこと」の間で、常に慎重な判断を求められています。

だからこそ、最も大切なのは、むし歯をつくらないことです。毎日の正しいブラッシングや生活習慣の改善、そして定期的な歯科受診によって、歯を長く健康に保てるようにしましょう。



- P1 歯を長く使うために
- P2 診療科紹介：歯内治療科
- P3 患者さんからのご意見・ご要望、インプラント説明会
- P4 歯の治療週間、クールビズ、編集後記

記事見出しの色分けをいたしました。

■ 患者さん向け、■ 医療機関向け、■ お知らせなど

診療科紹介：歯内治療科

歯内治療科 診療科長補佐・講師 浦羽 真太郎

私たち歯内治療科は、歯科病院4階の西診療室で主に「歯の根の治療」や「神経の治療」とよばれる分野を担当しています。歯内治療（根管治療）とは、むし歯が進行して歯の神経にまで炎症が及んだ歯に対して、歯の根にある「根管」という細い管の中から、炎症を起こした神経や細菌、汚れを取り除き、きれいにする治療です。

主に歯の内部を治療するため、被せ物を入れる治療と異なり、患者さんご自身ではお口の中の変化が分かりにくいかもしれません。しかし、この治療は痛みや腫れを抑えるだけでなく、治療後に被せ物を入れて噛めるようにした歯を、将来にわたって長く使い続けるための土台となる極めて重要な処置です。例えるなら、歯を残すための基礎工事をイメージしていただくと分かりやすいかもしれません。

当科の大きな特徴は、歯科用実体顕微鏡（マイクロスコープ）を積極的に活用していることです。マイクロスコープは、暗くて狭い歯の内部を明るく照らし、肉眼では確認できなかった微細な構造や感染の原因を大きく

拡大して見るることができる装置です。これによって、以前に比べて精密な処置ができるようになり、歯を保存できる可能性が広がりました。また、歯根破折（歯の根のひび）などの抜歯が必要となる状態を早期に発見し、効果の見込めない治療を長引かせることを避けられるようにもなりました。現在では診療室内に多くの台数を備え、日々の診療に役立てています。

また、当科のもう一つの特徴として、近隣の歯科医院の先生方からご信頼をいただき、通常の治療では治りが悪い歯や処置が難しい歯を中心に、大変多くの患者さんをご紹介いただいていることが挙げられます。現在、当科の初診患者さんの8～9割がご紹介をいただいた患者さんです。

一本一本の歯をしっかりと残せるよう診療に従事しておりますが、精密な治療を行うため一回の治療時間が長いことや、予約が取りづらく治療期間が長くなることでご不便をおかけしております。ご自身の歯を末永く安心して使っていただくために、当科の役割をお知りおきいただければ幸いです。



(左) 各診療台にマイクロスコープとモニターが設置されている
(右) マイクロスコープを用いた根管治療



歯内治療科医局員

ご意見・ご要望	回答・改善等
<p>無呼吸症候群の検査目的で内科へ紹介され、初診の時の配慮を望む。検査手順の用紙を渡されて、事前にSMSで連絡が入る事を知らされておらず、キット受取りにストレス感じた。配送業者も違った。都外患者へは、SMSで連絡が入る旨をしっかりと伝達してもらいたい。</p>	<p>この度はご心配とご迷惑をおかけいたし、大変申し訳ございませんでした。</p> <p>株式会社フィリップス・ジャパンより支給されている「ご自宅での検査の流れ」という用紙に従って当院クリニックより用紙を患者さんにお渡ししつつ説明させていただきました。</p> <p>ご意見ご要望を拝読し、フィリップス社に確認いたしましたところ、お渡しし説明していた用紙が古いバージョンであったので、検査の流れを変更したため新しい用紙が作成されていた旨をフィリップス社の担当者からお聞きし、現在行われている「流れ」を説明できる状況にいたしました。</p> <p>この度は業者との連絡不行き届きのため、ご心配、ご迷惑をお掛けいたしましたこと、深くお詫びいたします。</p> <p>今後このようなことが生じぬよう、業者と連絡を強化し、情報共有してまいります。</p> <p>ご指摘に感謝申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">(内科クリニック)</p>
<p>手術後、口の中が痛くて食べづらい状態でしたが、口に入れやすい大きさにカットされていて、味も傷口にやさしい味でした。明日で退院しますが、これからも美味しい食事を作ってください。</p>	<p>この度はお褒めの言葉をいただき、ありがとうございます。術後で食事に制限がある中、美味しく食べていただけて何よりです。今後も、栄養科スタッフ一同、患者さんに入院中のお食事に満足していただける様に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(栄養科)</p>

おしらせ

患者さんを対象にしました、「インプラント治療に関する説明会」を開催いたします。

インプラント治療について、分かりやすくご説明いたします。どうぞお気軽にご参加ください。

日時：2026年7月22日(水) 13時30分～14時30分

会場：当院 2号棟第1会議室

参加費：無料、当日直接会場へお越しください。

(事前申し込み不要)

患者さん対象
インプラント治療に関する説明会
開催について

インプラント治療について、分かりやすくご説明いたします。

日時： 5月27日(水)11:30～12:30
7月22日(水)13:30～14:30
9月30日(水)11:30～12:30
11月25日(水)13:30～14:30
令和9年1月27日(水)11:30～12:30
3月24日(水)13:30～14:30

会場：昭和医科大学歯科病院・2号棟1階第1会議室

講師：インプラント歯科 診療科長 宗像 源博

参加費：無料

その他：手術時間延長や変更により開始時間が変更となる場合がございます。

～お願い～

コロナウイルス感染症予防のため、37.5℃以上体温がある場合や体調不良の方は当日の参加をご遠慮ください。皆様の安全確保のため、ご協力をお願いいたします。



お問い合わせ 昭和医科大学歯科病院事務課管理係
住所：東京都大田区北千束2-1-1 TEL：03-3787-1151 (内)



歯とお口の健康週間

歯科衛生室 歯科衛生士 窪谷 凧紗

6月4日～10日は、歯とお口の健康週間です。令和8年度の標語は「歯みがきは 体を守る 最前線」です。

お口を清潔に保つことは、むし歯や歯周病の予防につながります。歯を健康に保つことで、おいしく味わい続けることや、会話を楽しむことなどができます。また、歯周病は糖尿病や心臓疾患、脳血管疾患など全身の疾患と相互に影響し合うことが分かっており、炎症を抑えることで血糖コントロールの改善や心血管のリスクの低減にもつながると報告されています。適切

なお口の管理は、お口だけでなく全身の健康を守るためにも大切です。

お口の健康を守るためには、日々のセルフケアに加えて、現在のお口の状態を知ることも必要です。ご自身では気づきにくいお口の状態や機能に合わせて、当院では歯科衛生士による歯磨き指導や、専門的なクリーニング、お口の機能の検査を行い、お口の健康管理をサポートさせていただきます。詳しくは、歯科医師や歯科衛生士にお尋ねください。



日本歯科医師会ホームページより



歯科衛生士による歯磨き指導の様子

おしらせ

昭和医科大学では、全施設一丸となって節電対策に取り組んでおります。

当院でも2026年5月1日～10月31日の期間、クールビズを実施しています。気温に合わせた

柔軟な服装（ノーネクタイ・ノージャケット等）で就労いたします。皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

事務課管理係

編集後記

暦の上では立夏を迎え、爽やかな風に初夏の訪れを感じる季節となりました。連休が明け、日常のリズムを取り戻す時期ですが、この時期特有の気温差は心身に疲れを溜めやすくさせます。皆様も無理をせず、まずは十分な休養を心がけてください。健やかな毎日の基盤となる「お口の健康」についても、引き続き当院が全力でサポートさせていただきます。

(K.O)

